

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 27 年 7 月 6 日

理事長 松山 良一

## 大型国際会議誘致案件の日本開催が決定！

～オールジャパン体制による誘致活動が奏功～

- 今般、主催者、政府、自治体等関係者が一致団結し、国をあげて誘致活動を行っていました、国際会議誘致案件のうち参加者 5,000 名を超える大型医療系国際会議の神戸での開催が決定しました。
- JNTOは、観光庁と連携し、内閣総理大臣をはじめ所管大臣等からの招請状の発出、また MICE アンバサダーの兵庫県立リハビリテーション中央病院、ロボットリハビリテーションセンター長、県立福祉のまちづくり研究所長、陳隆明氏による熱心な誘致活動を支援しました。
- JNTO・観光庁では、誘致活動中の国際会議案件に対するMICEアンバサダープログラムを活用した支援をはじめ、引き続き、より多くの国際会議の日本誘致に取り組んでまいります。

会議名	和文) : 国際義肢装具協会世界大会 英文) : World Congress of the International Society for Prosthetics and Orthotics		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISPO は、義肢装具・自立支援機器・リハビリテーション工学・医療福祉に関する公平かつ非政治的で協調的な諮問団体であり、医師・義肢装具士・セラピスト・エンジニア・介護職など多職種から構成されることを特色としている。WHO など国際的な団体と緊密な関係を持ち、義肢装具サービスの向上・教育の普及をめざすことを主な目標の一つとしている。</li> <li>・1989 年に神戸において日本で初めて国際義肢装具協会世界大会が開催され、2020 年のパラリンピック前年に 30 年ぶりに再び神戸で世界大会を開催することになった。</li> <li>・近年 ISPO としては、開発途上国における義肢装具サービスと技術者の教育標準を保つことにも力を入れており今回の大会では発展途上国からの参加者が多数見込まれる。</li> <li>・大会当日には医師だけでなく、義肢装具士・セラピスト・エンジニア・介護職・ユーザーなど多分野からの参加が見込まれ、ISPO 初の試みとしてプレパラリンピックイベントなど一般の方にも参加していただける多様なプログラムも提案していく予定である。</li> </ul>		
主催団体	国際義肢装具協会 日本支部		
開催都市(会場)	神戸市	予定開催期間	2019 年 10 月
参加予定人数	5,000 名(海外:3,000 名 国内:2,000 名)	予定参加国数	70 力国
誘致活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光庁との連携のもと、内閣総理大臣、副総理・財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、観光庁長官、JNTO 理事長名の招請状を発出。</li> <li>・MICE アンバサダープログラムとして、2014 年 11 月に台北で開催された国際義肢装具協会理事会にあわせ、世界大会の日本招致を働きかける JAPAN NIGHT の開催を支援。JNTO からは理事が出席するとともに、交流協会台北事務所からは総務部長に参加いただき、オールジャパン体制での支援を表明。</li> </ul> <p>※MICE アンバサダープログラムとは…</p> <p>JNTO・観光庁では 2013 年 12 月以降、国際会議の日本誘致を推進するため、学術分野や産業界において、国内外に対する強い発信力やネットワークを持ち、「日本の顔」として広報活動や誘致活動に寄与いただける有識者の方々を MICE アンバサダーとして任命、その活動に対し必要な支援を行う「MICE アンバサダープログラム」を展開。</p>		

本件に関するお問い合わせ先

コンベンション誘致部 (岡田) TEL:03-3216-2905